

今後のまちづくりの提案や広聴のあり方の検討について

令和元年11月12日

小国支所地域振興課

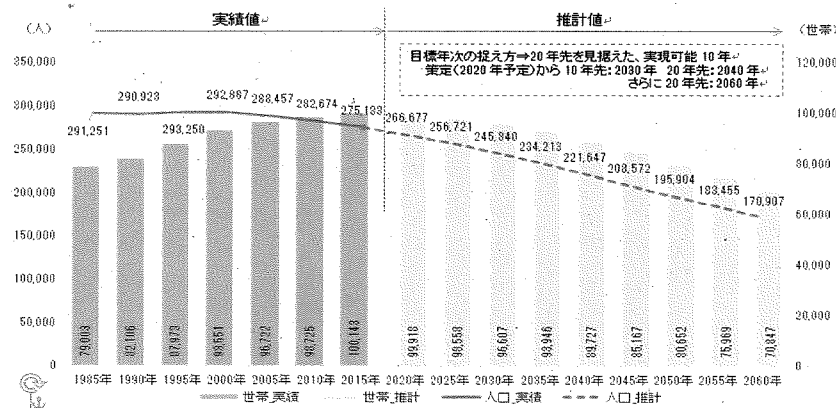
1 主旨

[主旨]
地域の代表機関として活躍してきた地域委員会のこれまでの活動を振り返るとともに、地域の現状と課題を総合的な視点から照らし合わせながら、今後の地域づくりに相応しいまちづくりの提案や広聴機能の形について、幅広く議論していただきたい。

[背景]
○合併後、支所地域におけるまちづくりの検討や広聴の代表機関として、地域委員会を設置
○15年にわたり、地域における振興策や生活課題への対応などを議論。ふるさと創生基金事業や地域の宝磨き上げをはじめ、少子化を背景とする小学校や保育園の統合、交通対策、コミセンの開設、新たな活動の誘発など、様々な成果を創出してきた。
○一方、いずれの地域においても人口減少、高齢化は着実に進んでおり、地域の担い手不足はいずれの地域においても懸念されている。
○そのようななか、地域には区長会や総代会、コミセン協議会など住民代表が集う様々な組織が存在し、広聴機能の効率化を求める意見も散見されるようになってきた。
○また、若い世代の多様な活動が芽生えている地域もあるなかで、次代を担う若者の意見を積極的にまちづくりに活かすことが、地域の活力維持につながるという意見も聞かれる。

2 小国地域の現状と課題

(1) 全市人口及び世帯数の推移と将来見通し



※小国地域の震災前後の比較

	人口 (人)	高齢化率 (%)
H16.4.1 (震災前)	7,141	34.3
H31.4.1 (震災後)	5,135	44.6
増減	▲ 2,006	10.3

(2) 地域の主な課題

- ・少子高齢化により、地域活動や集落活動の担い手不足。
- ・高齢者支援(除雪、見守りなど)の充実が必要である。

(3) 広聴組織、団体の状況等

- ・集落総代連絡協議会、総代会で住民の意見や要望を集約している。
- ・地域住民団体(チームおぐになど)が立ち上がり、地域の宝である森林公園の活性化として、トレイルランニングや音楽イベントなどの活動を行っている。
- ・また、冬の雪上エンデューロ大会では、地域住民が中心となり小国雪まつり実行委員会エンデューロ部会を立ち上げ、運営に携わっている。

3 小国地域委員会が果たしてきたまちづくりへの提案・広聴機能

まちづくりへの提案や広聴機能において、地域委員会が果たしてきた役割や成果を記入してください。

[まちづくりの提案]

- ・児童数の減少が著しいことから、地域全体の問題として充実した教育環境の必要性について、PTA、保護者会などと意見交換を行い、問題点や実情を抽出し、今後の方向性を検討したことにより、3小学校統合準備会の立ち上げにつながり、円滑に3小学校を統合することができた。

[広聴機能]

- ・地域委員会で市の予算や事業、防災などの説明をした際に、市の施策の参考となる貴重な意見が得られた。
- ・地域の課題であった地域内3小学校の統合に向け「子育てや教育環境」に関するアンケート調査を実施した。

4 今後の検討テーマ(案)

次のテーマについて幅広く御意見をいただきたい。

- まちづくりに関する地域住民の意見・提案をお聞きする「広聴の仕組み」として相応しい形は
- 多様な地域課題に対し、実のある検討を柔軟に行う「検討の仕組み」として相応しい形は